2022 年度 小委員会活動成果報告

（2023 年 2 月 1 日作成）

小委員会名	室内音響小委員会	主 査 名：石渡智秋 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	環境工学委員会 （音環境運営委員会）	委員長名：秋元孝之 主 査 名：坂本慎一
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 （箇条書き）	室内音響学に関する知見や技術を広く一般の建築に供することにより、快適で安全、安心な生活空間の創造を目指す。 初年度：・活動方針、活動内容の決定 ・小委員会とＷＧの関係の確認 ・各ＷＧの活動方針・活動内容のサポート ２年度：・各ＷＧの活動のサポート ・シンポジウム等、成果の公表の準備 ３年度：・活動方針、活動内容の修正や方向性の決定 ・各ＷＧの活動のサポート ・シンポジウム等、成果の公表の準備 ４年度：・まとめ	
委員構成 （委員名（所属））	委員公募の有無：無 主査：石渡智秋（永田音響設計） 幹事：青木亜美（日建設計）、服部暢彦（永田音響設計） 委員：李　孝珍（東京大学）、池上雅之（大林組）、上野佳奈子（明治大学）、大久保洋幸（日本放送協会）、川井敬二（熊本大学）、佐久間哲哉（東京大学）、清水　寧（Sound/Form Design Lab）、志村留美子（日本設計）、羽入敏樹（日本大学）	
設置 WG （WG 名：目的）	・子どものための音環境 WG：子どものための空間に必要な音環境性能の把握、啓発 ・室内音響啓発コンテンツ企画WG：音環境向上のため啓発コンテンツ計画 ・吸音設計AIJES検討WG：吸音設計に関するAIJES作成検討	
2022 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：小委員会からの情報発信として下記がある。 委員会HPアドレス：https://note.com/oto_arc/ http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/benchmark/index_j.html http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/

項　　目	自己評価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー等） ＊能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	１．活動目標に対して具体的な行動を、WG を立ち上げて行った ２．委員会としてのシンポジウム開催等での成果公表には至らなかった
委員会活動の問題点・課題	１．今後の SNS 発信プラットフォームの維持

＊　小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

＊　中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用　自己評価欄

2022 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A　　(B)　　C　　D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	室内音響学に関する知見や技術を広く一般の建築に供し、室内音環境の向上をめざすことを目的として活動を行ってきた。成果公表としてシンポジウム等の開催は達成できなかったため B 評価としたが、具体的な活動に必要な WG を立ち上げ、それをサポートする形で委員会の活動を進めた。 ひとつは啓発活動の実行のために立ち上げた「室内音響啓発コンテンツ WG」であり、インターネットを使用した発信活動をスタートさせた。SNS サービスのひとつである note 上にプラットフォームが用意され、徐々に発信を行っており、今後のさらなる運用に期待ができる。 もうひとつは、建築主、設計者、施工者等へ音環境に対する認識を高め、吸音が実行されるためには、ガイドラインや基準が必要として立ち上げられた「吸音設計 AIJES　WG」である。吸音設計 AIJES の作成に向けて WG で作業を進めている。 なお、こどものための音環境 WG については、室内音響小委員会の傘下に設置し、これまで長く成果を上げてきたが、今後の室内音響分野にとどまらない音環境に広く関わる活動を見据え、音環境運営委員会傘下への設置を提案することにした。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画･目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価･外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。